

国内外規格・認証制度研究会(第19回)議事録

日時: 2011年1月21日(金) 15:00~17:55

場所: 富士通総研会議室(竹芝)

出席者(敬称略): 石川、大月、加藤(康)、日下、高橋、田代、福田、増田、折笠(記録)[合計9名]

【議事要約】

1. BCIのSupply Chain Resilience Survey 2010(田代様)

- ・BCIによるサプライチェーンのレジリエンスに関する調査結果の2010年版についての紹介。Webアンケートによる調査。回答者の約半数が英国、業種では金融が3割、ITが1割、製造は6.5%の点に留意。
- ・2010年のサプライチェーン途絶の原因の上位は、「悪天候」、「IT/通信の障害」、「外注業者のサービス中断」であった。2009年は「取引先の破綻」が多かった。

2. 最新情報共有(石川座長)

(1)BCAO運営会議から

- ・BCAO BCM推進セミナー: 昨年第1回実施し、好評。第2回が2月、第3回が3月の予定。
- ・BCAO講師の募集について: 講師認定制度を開始。上級認定、認定、准認定の3種で募集中。

(2)トピックス

下記の最新情報の紹介あり。詳細は各資料のURLより参照。

- ・Business Continuity Institute publishes new Dictionary of Business Continuity Management Terms
<http://www.thebci.org/glossary.pdf>
- ・BS25999 Users' Workshop report
<http://www.thebci.org/BS25999UsersWorkshopEdinburghReport.pdf>
- ・「事業継続計画策定・運用促進方策に関する検討会」(第9回)議事概要について 内閣府
<http://www.bousai.go.jp/oshirase/h22/101227-1kisyu.pdf>
- ・企業の事業継続計画(BCP)の策定事例の情報提供について 内閣府
<http://www.bousai.go.jp/kigyoubousai/jigyuu/bcpjirei.html>

3. 地震に限らないディスラプションの事例調査…規格と絡めて(有志)

(1)日下様: 9.11米国同時多発テロ

- ・BCPの有効性立証によりBCP普及の契機となる。
- ・企業もテロをBCの検討対象とする必要あり。
- ・IT復旧に限らず、業務資源の冗長化やバックアップ、分散化など、多様なBC対策の検討が有効。

(2)加藤様: 原子力災害事例

- ・東海村 JCO 臨界事故: 作業手順変更による想定外の災害で、国内最大の原子力事故。
- ・高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏れ事故: 設計ミスで火災、放射能漏れ無。虚偽情報公開で信用失墜

(3)石川様: 火災事例

- ・新日本製鉄名古屋製鉄所: 月内に9割レベル操業に復旧するも300億の損失。他社影響大。
- ・ブリヂストン栃木工場: 復旧目処立たず400億の損失。他社影響大。

- ・次回は、今回までの事例調査からの知見をもとに、検討を深掘りしていく。組織での活用やBCM規格への反映を目指す。

4. ディスラプション特性の考え方の整理・リスク間共通ディスラプション特性の抽出(3)

- ・ 石川座長より、ディスラプション特性の考え方の整理に関するイメージ図とリスクとディスラプション特性の考え方に関するイメージ図の紹介があった。
- ・ この内容を含め、本研究会の活動内容を1月31日の月例講習会で石川座長が講演。田代様の講演もあり。
- ・ 次回、引き続き検討。副座長は本資料に対する見解資料を提出のこと。

5. その他のトピックス

- ・ 増田様より、東海地震リスクを抱えた東海地方における強い地域作りのために、大学・社会人教育において人材育成に必要な事項に関する意見募集のご依頼あり。コメントがある方はメールにて増田様にご連絡のこと。

6. 次回開催予定

- ・ 2011 年 3 月 16 日(水) 15:00～17:30 富士通総研・会議室にて開催
 - ・ 下記の本日未審議議題は次回審議の予定
- (1) 地域限定 BCP の制度設計について(大塚様)

以上